

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	南消防署 消防訓練事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	南消防署				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防			主管課長	野口 博一			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内の防火対象物、在住者、在職者。	意図	災害に強い町づくり。 市民に対し災害に備えた防災意識を身に付ける。
事業内容	市民に対し、消防訓練等の実施及び防火対象物への立入り検査の実施。			
事業開始から現在までの状況変化	平成21年度より南消防署となり、つくばエクスプレスの開通に伴い、管轄区域の防火対象物、人口の増加が考えられ、都市形態・生活環境等が変化し、都市型災害により消防活動は益々重要になっている。一方首都圏直下型地震も予想されていることから、自助、共助、公助の認識を住民に周知していくことが求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	自衛消防訓練	36			
②	自治会等の消防訓練	9	19	16	件	↑↑↑	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)							
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数(年)（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	事業所や自治会の住民を対象にした消防訓練の実施指導をする。	③取り組みの課題	地震などの大災害では地域の住民が力を合わせて、対応することが必要である。
②今年度(H25)に実施した取り組み	消防訓練の実施を促すとともに、積極的な参加を呼び掛ける。	④今後の改善計画	消防訓練を通して市民一人ひとりに防災意識の普及啓発を図る。